



Press Release

2008年9月18日 ぎんせいしゃ
銀聲舎

[10/31-11/30 和歌山市] 昭和初期の レトロ文化を再現する催しの開催

—文化庁、在日フランス大使館後援。登録有形文化財活用のモデルケースを目指す—

近代建築*の有効活用を目指すNPO・銀聲舎（ぎんせいしゃ）では、2008年10月31日から11月30日にかけて、昭和初期に建てられた小野町デパート（文化庁登録有形文化財）で、昭和初期のレトロ文化を再現する催し「南海摩登（もだん）博覧会」を開催いたします。（「摩登」はモダンの中国語標記です）

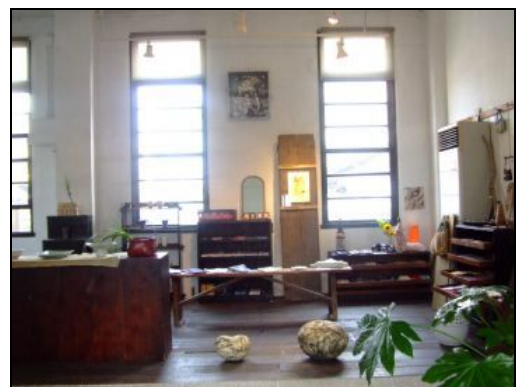
本団体は「近代建築の有効活用を目指す」というキーワードにより、会発足時より全国の近代建築物にて数多くの行事を手がけて参りました。しかし文化庁によると登録有形文化財は現在7179件あり、平成18年の5593件に比べると128%と急増していますが、一方で老朽化やコストの問題により、全国で多くの文化財が取り壊されています。このたびの催しを全国に散在する同様の物件に対して有効活用のモデルケースを提示することで、今後の文化財活用に道筋をつけることを目指しております。



（小野町デパート）

週代わりの個展とイベントを実施

この催しでは、シャガールやピュフェの常設展のほか、週替わりで9つの個展と、休日を中心に11回の行事（20世紀初頭の活動映画上映会、電子楽器・テルミンのコンサート、短歌歌会、ヨーロッパ中世時代のダンス及びコンサート、リュートのディナーショー、シンポジウム、トークショーなど）を予定しております。また南海摩登博覧会は文化庁からNPOによる文化財建造物活用モデル*採択事業・関西元気文化圏*参加事業として認められ、在日フランス大使館からは日仏交流150周年記念事業として後援を得ております（詳細は次ページ以降のとおりです。個々の行事に対するプレスリリースは改めてかけさせていただきます）。



（小野町デパート 会場内部）



参加呼びかけにご協力くださいますようお願いいたします。

近代建築*；日本建築史の用語として、西洋の建築様式や技術を用いた幕末期以降の日本の建築物で、とくに西洋の意匠を取り入れたものを指します。日本ではこのような物件の多くが文化庁登録有形文化財（全国で7, 179件）として登録されております。

NPOによる文化財建造物活用モデル*；文化庁により、文化財建造物の活用案を独自性や創造性に富み、実現性に優れた事業を資金面での支援が行われます。

関西元気文化圏*；関西から文化を力強く発信し、日本の社会を元気にすることをねらいとして、2003年に河合隼雄前文化庁長官が提唱した制度で、博物館・美術館での展覧会をはじめ、多くのイベントが関西元気文化圏の参加事業として認証されております。

テーマ 南海摩登（もだん）博覧会

日時 2008年10月31日（金）～11月30日（日）12:00～18:00
水曜は休み

場所 小野町デパート（文化庁登録有形文化財）・和歌山市小野町3-43・電話073-425-1087

対象 全年齢

料金 入場無料、ただしイベントによって料金を設定する場合があります。

主催 銀聲舎（ぎんせいしゃ）／源じろう有限会社

後援 在日フランス大使館（日仏交流150周年記念事業）・文化庁（NPOによる文化財建造物活用モデル採択事業・関西元気文化圏参加事業）

連絡先 担当・銀聲舎代表世話人 松尾 寛（まつお ひろし）

携帯電話 070-5500-9003（連絡は携帯電話へお願いします）

自宅電話 073-448-0558（家族が出ます）

近代建築の有効活用を考えるNPO・銀聲舎とは？（別紙概要をご覧ください）

<http://kuan.egoism.jp/ginseisha>



イベントスケジュール 以下のとおりです。

<常設展> マルク＝シャガールとベルナル＝ビュフェの世界（会期中）

<個展>（原則 金～火、最終週のみ木～日で設定）

10月31日（金）～11月 4日（火）

前北桂像（まえきた けいぞう）写真展「SILENCE」／お菓子展「フジトモ御菓子帖」



11月 7日(金)～11月11日(火)

和歌山大学紀州経済史文化史研究所・展示「ピース&ビューティ『化粧の時代』の新聞広告」；大正・昭和初期に流行した化粧の新聞記事について / 公募展他

11月14日(金)～11月18日(火)

有坂ゆかり(ありさか ゆかり)油彩画展「Emergence」 / 星川孝(ほしかわ たかし)クレパス画展「幻影旅情」

11月21日(金)～11月25日(火)

細尾 正行(ほそお まさゆき)イラスト展 / 井上 明子(いのうえ あきこ)写真展「欠片」

11月27日(木)～11月30日(日)

吉田 稔美(よしだ としみ)絵本原画展「ルネサンスの踊りにさそわれて」架空社「ルネサンス踊り絵本」原画より / 日向 燦太(ひなた さんた)バーナーアート展

<イベント> (変更することがあります。それぞれのイベントは2週間前に告知いたします)

10月31日(金) 19:00～

開会式

11月 1日(土) 15:00～

ワークショップ「ブリザードフラワーをつくる」(フラワーオフィス Mus`ee 代表・西尾孝行)

11月 2日(日) 15:00～

活動映画(無声映画伴奏者・柳下美恵他)

11月 8日(土) 13:00～

ワークショップ「NHK文化センター講座・大正ロマン探訪」(銀聲舎代表世話人・松尾寛)

11月 9日(日) 15:00～

トークショー「性を語る・衛生博覧会から秘宝館まで」(笹谷遼平他)

11月15日(土) 15:00～

トークショー「映画のなかの関西」(映画監督・草野陽花他)

11月16日(日) 15:00～

演奏会「テルミン」(テルミン奏者・安達裕子)

11月19日(水) 19:00～

ワークショップ「大正ロマン時代の製茶会」(ティインストラクター・萩野妙子)

11月21日(金) 19:00～

十七世紀のリュート+声楽ディナーショー(リュート奏者・井上周子他)

11月29日(土) 13:00～

ワークショップ「短歌歌会-甲麓庵歌会」(北夙川不可止)

11月30日(日) 14:00～

トークショー「近代建築プロデュース」(西川一弘他)、閉会式

詳細な概要は以下のページにあります。

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/kuan/nankai/gaiyou.pdf>



近代建築の有効活用を目指すNPO・銀聲舎（ぎんせいしゃ）の概要

近代建築の有効活用を目指すNPO・銀聲舎（ぎんせいしゃ）は、大正・昭和時代に建てられた近代建築（※）の保存や有効活用に関心を持つ近畿地方在住の社会人・学生らが2004年9月に設立したNPO（任意団体）です。現在では学校教員や主婦の方々も加わり、メンバーは約20名です。

（※近代建築；日本建築史の用語として、西洋の建築様式や技術を用いた幕末期以降の日本の建築物で、とくに西洋の意匠を取り入れたものを指します。）

団体のキャッチフレーズは「近代建築の有効活用を目指すNPO」です。

活動概要は、主に以下のとおりです。

（1）近代建築・登録有形文化財の有効活用に関するコンサルティングや勉強会、近代建築の建物を活かしたイベント開催（会発足時～現在）

（新聞に掲載された主な取組み）

2005年 6月 和歌山市・近代建築の活用を考えるワークショップ

2005年11月 和歌山市・和歌山県教委と共催で近代建築の活用を考えるフォーラム

2008年 3月 西宮市・甲子園の歴史と文化を守り育てる会

（2）NHK文化センターにおいて大正・昭和初期の日本を探訪する現地講座の実施（2006年10月～現在）、その他、会発足時より同趣旨の勉強会を80回程度（海外を含む）開催。

（3）登録有形文化財の物件を中心に短歌歌会を年10回程度開催。プロ歌人を含め毎回20人程度が参加（2002年11月～現在）。

連絡先は、以下のとおりです。

住所（代表者自宅）〒641-0025 和歌山県和歌山市和歌浦中 2-13-15-1-202

代表世話人氏名 松尾 寛（まつお ひろし）

電話・ファックス 070-5500-9003（携帯／お手数ですがなるべくこの番号にお願いします。折り返し電話いたします）

073-448-0558（自宅／家族が出ます）

ホームページ <http://kuan.egoism.jp/ginseisha> 検索では「銀聲舎」あるいは「銀声」で。